

# あいち 国際プラザ



2025.9 No.166

**AIA** AICHI INTERNATIONAL ASSOCIATION

公益財団法人 愛知県国際交流協会  
ニュースレター



紙の一枚

県立夜間中学の様子

■写真の内容については2～3ページの特集「県立夜間中学」で紹介しています。

## Contents

### 特 集 県立夜間中学 ..... P.2～3

- AIA だより 協会の主催・共催事業などを掲載しています ..... P.4～6  
 ワールド・コラボ・フェスタを10月25日(土)と26日(日)に開催します！  
 令和7年度災害時ボランティア研修「災害時の多言語支援～私たちの役割」  
 「外国人児童生徒向け進路相談会開催のための手引き」をWebサイトで公開中です  
 「コミュニティ通訳講座初級第1回」を開催しました  
 高校生インターンシップ報告(聖霊高等学校)
- Focus on ! ..... P.7  
 国際交流ステーション 一色コスモスサポート学習の会 はじめの一步クラス  
 世界の街かどレポート JICA 海外協力隊 マラウイ
- CIR ライアンのでてく日記 ..... P.8
- 編集後記・協会案内図 ..... P.8

当協会では賛助会員を募集しています。詳細は [愛知県国際交流協会 賛助会員](https://www2.aia.pref.aichi.jp/somu/j/send/boshu.html) で **検索**  
<https://www2.aia.pref.aichi.jp/somu/j/send/boshu.html>

## 県立夜間中学

今年度、愛知県に初めての県立夜間中学が開校しました。「夜間中学」とはどのような学びの場なのでしょうか。今回の特集では、新たに開設された県立夜間中学を取り上げ、その取り組みと意義を紹介します。

### 愛知県立夜間中学で仲間と一緒に勉強しませんか？

愛知県教育委員会では、日本語指導が必要な外国にルーツをもつ方や不登校などの理由により中学校に十分に通えなかった方に対する日本語の基礎指導や義務教育段階の学び直しに対応する夜間中学を設置しています。

| 2025 年 4 月開校             | 2026 年 4 月開校                  |                             |                            |
|--------------------------|-------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| とよはし中学校                  | とよた中学校                        | こまき中学校                      | いちのみや中学校                   |
| 豊橋市草間町官有地<br>(豊橋工科高等学校内) | 豊田市小坂町 14 丁目 65<br>(豊田西高等学校内) | 小牧市小牧 1 丁目 321<br>(小牧高等学校内) | 一宮市北園通 6 丁目 9<br>(一宮高等学校内) |

### 夜間中学ってどんなところ？

- 週 5 日、月曜日から金曜日まで、毎日授業があります。
- 1 日の授業は、4 時限（1 時限：40 分）です。（17 時頃から 21 時頃まで）
- 昼間の中学校と同様に原則 3 年間学びます。  
（学習状況等に応じて、短縮することや最長 6 年まで延長することができます。）
- 決められた課程を修了すれば、中学校卒業となります。
- 授業料や教科書代は無料です。（教材費や行事の参加費、交通費はかかります。）
- 希望者には給食を提供します。（お金はかかります。）



### どんな人が入学できるの？

義務教育の年齢（満 15 歳）を超えている人で、愛知県に住んでいる、または働いている会社があり、次のどちらかに当てはまる人が入学できます。

- ・ 日本または海外で中学校を卒業していない人
- ・ 不登校など様々な事情によって十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人

### 学校ではどんな勉強をするの？

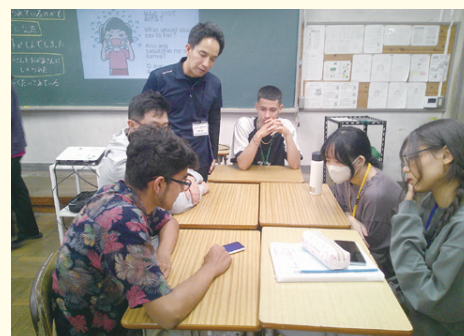
- 昼間の中学校と同じ教科を勉強します。（日本語だけを勉強することはできません。）
- 学習状況（習熟度）に応じた 3 つのコースと日本語指導に重点を置いた 2 つのコース、計 5 コースの中から一つ選んで学びます。
- 教員免許を持っている先生が教えてくれます。

### ～とよはし中学校の様子～

2025 年 4 月に開校したとよはし中学校には、20 人ほどの生徒が通っています。生徒は 10 代から 60 代まで幅広い年代、様々な国籍の人がいます。進学や資格取得、仕事に役立てるためなど目的は様々ですが、皆さん熱心に勉強しています。



▲とよはし中学校外観



▲授業の様子



夜間中学で教鞭を執っておられる、浅野ゆかり教諭（担当：日本語）、藤原一博教諭（担当：英語）のお二人に、質問にお答えいただきました。

■質問 1：夜間中学には様々な背景の生徒さんがいらっしゃいますが、教えていて感じること・気をつけていることはなんですか。

浅野教諭

熱心に学びに向かう姿が多く、自分の自身が刺激を受け、いい授業がしたいと思います。年齢や国籍、家庭環境が様々なので生徒に失礼なことや嫌な思いをさせないように気をつけています。

藤原教諭

英語を基礎から学ぶ必要がある生徒がいる一方で、すでに英語を流暢に話せる生徒もいます。中学校としてのどのような授業を行うべきか悩むことがあります。

■質問 2：生徒さんが大変そうだなと思うこと、苦労していると思うことがあれば教えてください。

浅野教諭

言葉の壁と、仕事の後に授業を受け、すき間時間に寝る間も惜しんで宿題や漢字を勉強している姿を見ると大変そうだと思います。

藤原教諭

仕事や家庭、そして学校の勉強の両立は大変だと思います。生徒はそれぞれの目標に向かって本当によく頑張っていると思います。

■質問 3：教えていてどのようなときにやりがいを感じますか。

浅野教諭

生徒が楽しそうに学習をしていたり、生徒が自分の成長に自身で気づいたりしている瞬間を目の当たりにできたときです。

藤原教諭

日本語でのコミュニケーションができない生徒が多いため、英語はまさに共通言語としての役割を持ちます。母語もバラバラ、年齢層も異なる生徒たちが、互いに英語でコミュニケーションをとろうとする姿を見たときです。



## 令和 8 年度愛知県立夜間中学入学者募集

愛知県立夜間中学に入学を希望する人全員に対して、面談を行います。まずは面談をお申込みください。

### 1 入学希望者面談

#### (1) 申込期間

9月17日（水）から12月5日（金）まで

#### (2) 申込方法

ア インターネット（Microsoft Forms） 入学を希望する夜間中学の Web ページにフォームを掲載

| とよはし中学校 | とよた中学校 | こまき中学校 | いちのみや中学校 |
|---------|--------|--------|----------|
|         |        |        |          |

イ 電話（日本語での対応）

（ア）とよはし中学校

とよはし中学校宛て連絡（平日の14時から20時まで） 電話 0532-45-5703

（イ）とよた中学校・こまき中学校・いちのみや中学校

あいちの学び推進課宛て連絡（平日の9時から17時まで） 電話 052-954-6315

#### (3) 実施期間

10月1日（水）から12月12日（金）までの平日

ア とよはし中学校 原則として15時から19時まで

イ とよた中学校・こまき中学校・いちのみや中学校 原則として9時から17時まで

#### (4) 会場

入学を希望する夜間中学

### 2 出願

原則、入学希望者面談実施時に次の書類を提出してください。

#### (1) 入学願書

※記入する時点で18歳に達していない人は、保護者の同意が必要です。

※県教育委員会・各学校の Web ページ、一部の市役所等で入手できます。

#### (2) 住民票の写し

#### (3) 就学履歴がわかるもの（手元にあるもので可。就学証明書・卒業証書・通知表等）

#### (4) 返信用封筒（角2封筒に490円分の切手を貼ったもの）



## ワールド・コラボ・フェスタを10月25日(土)と26日(日)に開催します! ▶

今年も名古屋・栄のオアシス21で「ワールド・コラボ・フェスタ2025」を開催します!

今回で22回目となるこのフェスタは、国際交流や国際協力、多文化共生、そしてSDGsに関わるNGOやNPO、企業などが集まる、中部地区最大級の国際イベントです。毎年参加してくださるおなじみの団体に加えて、初めて出展される団体も登場予定で、今からワクワクしています。

ブースでは、それぞれの団体の活動紹介はもちろん、実際に参加できるワークショップもたくさんあり、想いや個性がぎゅっと詰まった展示が並びます。ステージでは、各国の歌やダンス、伝統のパフォーマンスなど、



▲昨年の様子

多彩なプログラムをお届けします。ブースもステージも楽しめる内容が盛りだくさんです。

また、毎年大人気のスタンプラリーも開催します。各ブースを回ってスタンプを集めると、土曜日の夕方にはお菓子や食べ物の詰め合わせが当たる「おいしい抽選会」、日曜日の夕方にはちょっぴり豪華な賞品が当たる「大抽選会」に参加できます。

世代を超えて、どなたでも気軽に楽しめる“世界とつながる”2日間。ぜひ、オアシス21で、いつもとはちょっと違う体験をしてみませんか?



▲今年のメインビジュアル

### ◆ AIA の出しもの ◆

今年は大阪で日本国際博覧会が、また来年にはこの地域で国際的なスポーツ大会が開催されます。毎年さまざまな国や地域を紹介している当協会企画ですが、今年はアジアの国々とスポーツにスポットを当てて紹介します。

#### ●ブース「国旗展示と折り紙ワークで、アジアの世界に触れてみよう。」

アジアの国々の国旗や文化を紹介するパネル展示を行います。国旗に込められた意味や由来を、皆さんはいくつ知っていますか? また、国技や国民的スポーツ、各国・地域の応援の言葉も紹介します。アジアの多様な文化や人々の思いに触れてみませんか。

さらに、折り紙ワークショップなど、子どもから大人まで楽しめる体験型の企画も用意しています。遊びながら、アジアの国々を巡る気分を味わってください。

近年、愛知県には、アジアからの訪日客が急増しているほか、アジア諸国出身の方々が多く暮らしています。そんな身近なアジアの国々や地域について、あらためて知ってみませんか。



▲折り紙ワークショップ作品例

#### ●ステージ「ブラジル人元力士から見た日本」



▲現役時代のクリス氏

日本の伝統文化であり国技でもある大相撲は、これまで多くの外国出身・外国にルーツを持つ若者を受け入れてきました。

彼らは、厳しい稽古と慣れない共同生活の中、言葉の壁や文化の違いなどさまざまな葛藤や試練と向き合いながら、日本の伝統文化である相撲の世界に真剣に取り組んでいます。

今回のAIAのステージは、トークショーです! ゲストに2004年にブラジルからやってきて、22歳で相撲の世界に飛び込んだクリスチアーノ・ルイス・デソウザ(元 孝東)氏を、MCにSUMO エージェンシー代表の田代良徳(元 東桜山)氏をお迎えします。数あるスポーツの中で相撲を選択した理由や、相撲部屋での生活、来日から現在までの苦労や活躍、日本で暮らす中で感じる母国の文化との違いなどを交えて話していただく予定です。

みなさんのご来場を心よりお待ちしております♪



## 令和7年度 災害時ボランティア研修「災害時の多言語支援～私たちの役割」▶

当協会では「災害時の多言語支援～私たちの役割」と題し、当協会および県内市町村の語学ボランティアを対象に研修を実施しました。災害発生時、当協会に外国人住民や大使館等から多言語による相談が寄せられることが想定される中、語学ボランティアの皆さんの協力は欠かせません。そこで、災害時の支援に必要な心構えやスキルを身につけていただくことを目的に開催しました。

講師は、自治体国際化協会の地域国際化推進アドバイザー・杉田理恵氏。熊本地震や東日本大震災などでの多言語支援の経験をもとに、現場での課題や学びを交えながら、通訳・翻訳ボランティアに求められる「正確性」「中立性」「倫理性」の三原則や、安心感を与える聞き方、心のケアの方法などをお話いただきました。また、遠隔での通訳・通訳が増えていることや、相談者に寄り添う姿勢の重要性も強調され、実践に役立つ多くの学びがありました。

研修後半では、東日本大震災時の実体験をもとにした電話通訳のロールプレイや、避難所運営ルールを「やさしい日本語」にし、さらに外国語に翻訳するワークを実施しました。参加者からは「相談者の孤独や不安に寄り添う視点の大切さ」「やさしい日本語と視覚的な工夫が伝わりやすさにつながる」といった気づきの声がありました。

今回の研修を通じて、災害時の支援に必要な知識やスキルに加え、「安心を届ける」存在であることの意義を改めて実感する機会となりました。次回のボランティア研修の詳細は決まり次第、ご案内いたしますので、ぜひご参加ください。



▲参加者の作成した避難所運営ルールについて講評する杉田氏

## 「外国人児童生徒向け進路相談会開催のための手引き」を Web サイトで公開中です ▶

愛知県では、外国人生徒の高校進学のための環境整備がだんだんと進んできました。しかし、情報へのアクセスや制度への理解の困難さなどから、多くの外国人児童生徒や保護者にとって、進学には幾つかのハードルがまだ存在しています。

そこで、当協会では、昨年度末、「外国人児童生徒向け進路相談会開催のための手引き」を作成しました。この手引きでは、進路相談会の企画から実施に必要な情報やノウハウや注意点等、相談会で役立つ実施事例などを紹介しています。また、その相談会で使用できる多言語資料「日本の教育と進路について」(6言語+日本語)も作成し、Web ページで公開しています。

愛知県で進学・就職するうえで必要な教育制度等について、県内で外国人児童生徒を支援している市町村、市町国際交流協会、市町村教育委員会、小中学校、日本語教室、NPO 法人、地域住民などが互いに連携し、必要な情報を迅速かつ正しく伝えることで、外国人児童生徒が進路について考える機会となるよう、この手引きをご活用いただきたいと思います。



こちらの QR コードからもアクセスできます。

▲ 手引き・資料

## 「コミュニティ通訳講座 初級 第1回」を開催しました



7月19日(土)に外国人ヘルプライン東海との共催事業として、コミュニティ通訳講座初級 第1回を開催しました。講師には、刈谷市立しげはら園の林貴広さんをお迎えし、子どもの発達障害をテーマに、発達障害に関わる検査の内容や支援制度、各専門機関の役割などについて講演をしていただきました。また、学んだことを実践に活かす練習を行い、通訳の際に気を付けるべきことや通訳倫理について、体験を通して学ぶ機会となりました。

次回、コミュニティ通訳講座 第2回は11月14日(金)です。実際に通訳者を介して相談対応される方を対象とした講座で、前兵庫県国際交流協会職員の村松紀子さんに、外国人相談における通訳の必要性や通訳を利用する際の留意点についてお話しいただきます。外国人相談窓口の職員、福祉関係、教育関係の職員など日頃から外国人から相談を受ける多くの皆様にご参加いただければと思います。詳細につきましては、外国人ヘルプライン東海(TEL: 090-3968-5971、Eメール: fhelpline.info@gmail.com)にお問い合わせください。



▲講師：林貴広氏(刈谷市立しげはら園)



▲グループワークの様子

## インターンシップ報告

聖霊高等学校2年生



私は中学生のときに海外で生活した経験があり、それをきっかけに国際交流に興味を持つようになりました。通学中によく外国人の方を見かける中で、日本で生活するうえでどのようなサポートを受けているのか知りたくなり、このインターンシップに参加しました。最初はとても緊張しましたが、職員の方々があたたかく接してくださり、安心して活動に取り組むことができました。多文化共生は、相手の文化を理解するだけでなく、自分たちの文化も伝えることで成り立つという考え方に触れ、大切な視点を学びました。高校生にもできることがあると知り、今後はイベントやボランティアに積極的に参加したり、外国語の勉強にも挑戦してみたいと思いました。貴重な経験を本当にありがとうございました。(梶田 まい)

私は以前からフェアトレードに関心がありこの機会に参加しました。様々な経験の中で特に、愛知県内ではブラジル人やベトナム人などの外国人が多く暮らしており、外国人と地域単位で交流するためにイベントや支援活動など多岐に渡るサポートをしていることに感銘を受けました。また県庁内の多文化共生推進室と国際課を訪問させていただき、様々な視点から物事を捉えることの大切さを学びました。その中でも在日外国人を対象とした日本語教育では、「やさしい日本語」と呼ばれる新しいコミュニケーション方法を知り、今後さらに学び実生活でも活用したいと感じました。この経験を通して国際化が進む社会に貢献できる人材になりたいと強く思いました。このような機会を設けていただきありがとうございました。(梶田 輝梨)



▲図書業務の説明を熱心に聞く様子



▲多文化共生センターで外国人支援についての説明を受ける様子



## Focus on!

## 国際交流ステーション

市町村や市町国際交流協会、NGO/NPOなどの活動  
紹介や最新ニュースをお届けするコーナーです。

### 一色コスモスサポート学習の会 はじめの一步クラス (日本語学習支援基金 日本語教室学習支援事業認定団体)

学習支援教室の活動を始めてから25年ほどになります。立ち上げ当初は、義務教育を終えた子は、進学という進路は厳しい選択だったと思います。就学義務がない外国籍の子どもたちにとって、日本語習得のための場所もなく、16歳で働く子も多かったように思います。自分自身、この活動を通して多くの学びの場を頂いたことに感謝しています。

このはじめの一步クラスは、今年度4月からスタートしたクラスです。15歳を過ぎて来日した過年齢の子どもたちが対象で、学校に行きたくても日本語が全く分からない、話せないという子の居場所兼学習の場です。毎年、このような子が入室してきます。そのような子ども達の為の応援クラスです。教室に通ってくる子どもたちの国籍は、ブラジル、パキスタン、ポリビア、フィリピンです。一生懸命頑張ろうという姿勢にはびっくりしています。来年度の高校入試に向けて、自分の目標をしっかりと持って頑張る子たちです。月曜日から金曜日までの毎日の一歩一歩の歩みは大きいですね。読めた！書けた！出来た！分かった！の言葉は大きな力に変わり、達成感に繋がっているようです。学習の場が楽しい方がいいのでテキストにはあまり拘らず、身近な言葉や生活用語、時には教科書用語の学習をしたり、いろいろな場面を設定して学習しています。これからの多文化共生社会の構築には、

学習支援教室は、必要不可欠になるだろうとこの活動を通して実感する事が多いです。これからも子どもたちの笑顔がたくさん見られるように応援できたらと思います。



▲学習支援の様子



一色コスモスサポート学習の会  
はじめの一步 クラス  
住所：小牧市久保一色南  
Mail: reiko\_0422@hotmail.com

## Focus on!

## 世界の街かどレポート

世界各地で活躍する方々に現地の活動や交流の様子を  
レポートしていただくコーナーです。

### マラウイ (JICA 海外協力隊 木村 直)

Muli Bwanji? (ムリブワンジ) マラウイの現地語(チェワ語)で「元気ですか?」という意味です!

マラウイは、アフリカ大陸の南東部に位置する小さな内陸国です。地図を見ると北東部には、マラウイ湖と呼ばれる大きな湖があります。日本で一番大きいとされている琵琶湖の46倍もあるそうです。何度かマラウイ湖の湖畔まで行ったことがあります。もちろん反対岸は見え、海と錯覚してしまうほど大きいです。ぜひ地図で探してみてください。そんなマラウイ湖でよくとれるのが「チャンボ」と呼ばれる魚です。焼いたり揚げたりして食べられることが多いです。白身魚で淡白な味なのでトマトと一緒に煮て食べることもあります。マラウイの主食でトウモロコシの粉から作られている「シマ」と一緒に提供されることが多いです。

私は公立小学校で特別支援学級の先生として活動しています。日本とマラウイの小学校の制度の違いもたくさんあります。例えばマラウイは小学校1年生から8年生まであります。全校生徒は2800人で一学年約350人ととても多いです。子どもたちは教科書を用意することが難しいため、教師が持つ1冊の教科書を使いながら授業を受けています。また全学年を対象に学期末ごとに試験があり、合格の点数に達することができないと留年してしまうというルールもあります。そのような中でも毎日元気に学校に通う子どもたちから私も元気をもらい笑顔で活動に取り組んでいます。

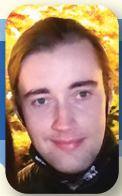
まだまだライフラインが整っていないマラウイでの暮らしは停電があつたり断水があつたりすることも多いですが、困ったときは現地の人々が必ず助けてくれます。今を楽しく笑顔で過ごすマラウイの人々から学ぶこともとてもたくさんあります。マラウイでの生活も残り約半年となりました。日本に素敵な経験や思い出をたくさん持って帰ることができるようにこれからも楽しんで過ごしていきたいです。



▲チャンボとシマ



▲学校の様子



# CIR ライアの てくてく日記

※ CIR とは、「国際交流員」(Coordinator for International Relations) の略称です。

皆さん、こんにちは！

この暑い夏を無事に乗り切っていますか？こまめな水分補給と、必要に応じてエアコンの使用をお忘れなく！

今月の機関誌が皆さんのお手元に届く頃には、私は国際交流員としての任期を終えていることと思います。これまでの3年間、様々な国際交流イベントに関わらせていただいたこと、愛知県国際交流協会や県内の各市町の国際交流協会の皆さまには心より感謝申し上げます。また、愛知県庁で共に働いた同僚の皆さまにも、多くのご支援をいただき、本当にありがとうございました。そして、私が関わった県内各地の国際イベントにご参加くださった皆さま、ボランティアの皆さま、主催者の皆さま、ミュージシャンの皆さまにも、この場を借りて御礼申し上げます。

この機関誌が発行される頃には、後任の国際交流員がすでに愛知に着任している予定です。今後はこのコラムも後任が担当いたしますので、ぜひ引き続き読んでいただき、新しい国際交流員への応援もよろしくお願いいたします。

愛知で過ごした日々の中で、私は本当に多くの経験をさせていただきました。国際交流プログラムの運営支援や、翻訳・通訳業務、そして愛知の魅力を海外に発信する広報活動など、どの業務も成長と異文化交流のチャンスにあふれていました。中でも、年齢やルーツの異なる愛知県民の皆さまと直接交流できたことは、私にとって何よりも貴重で、心に残る経験でした。

これから新たな挑戦に向かいますが、愛知で携わった草の根レベルの国際交流と愛知で国際交流員として働いた思い出は、ずっと大切にしていきたいと思います。

本当にありがとうございました。

## ～ワンポイント英会話～

### ■ By the time～(～頃には)

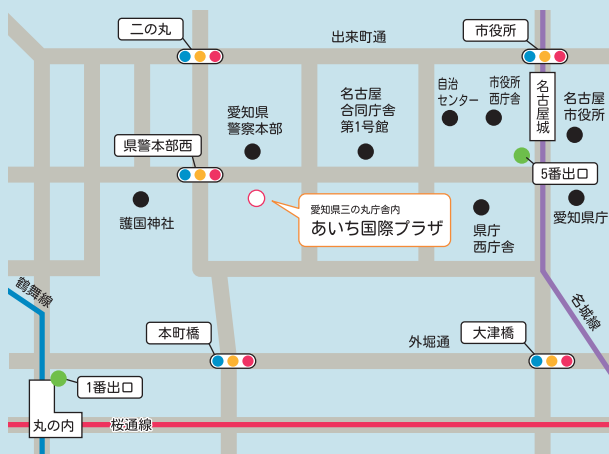
〈例〉 By the time this month's issue reaches you,  
今月の機関誌が皆さんのお手元に届く頃には、

### ■ Able to～(～ことができる)

〈例〉 Each task offered a new opportunity to become able to grow  
and connect across cultures

どの業務も成長と異文化交流のチャンスにあふれていました。

## ■ 協会案内図及び交通案内



地下鉄名城線「名古屋城」駅5番出口より徒歩5分  
地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内」駅1番出口より徒歩10分

## ■ 編集後記

当協会の一大会、ワールド・コラボ・フェスタの開催が近づいてきました。準備もいよいよ大詰めです。世界各国の歌や踊りのステージ、ワークショップやブース展示を通して国際交流や多文化共生について楽しく学べる絶好の機会です。ぜひ遊びにいらしてください。(1)

## ■ 開館時間案内

開館時間 月曜日から土曜日 10:00～18:00  
(金曜日は10:00～20:30)  
休館日 日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

## ■ 編集・発行

令和7年9月16日発行  
公益財団法人愛知県国際交流協会

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1 (愛知県三の丸庁舎内)  
TEL: 052-961-7903 / 052-961-8744  
FAX: 052-961-8045  
URL: <https://www2.aia.pref.aichi.jp/>

\*本誌を作成するにあたり、企業・個人の方に取材を通じてご協力いただいておりますが、登場する企業・個人の営業活動の促進を目的とするものではありません。